

香港への農林水産物・食品の輸出  
に関するカントリーレポート  
(豚肉)

2025年12月

香港輸出支援プラットフォーム

## 目次

1. 豚肉の基本情報とその背景
2. 輸入状況と近年の動向
3. 飲食業の動向
4. 小売業の動向
5. 小売価格
6. 流通経路
7. 規制・ルール
8. 参照

## ◆1. 豚肉に係る基本情報とその背景◆

2025年11月に農林水産省から発表された「2024年農林水産物・食品の輸出実績（品目別）」<sup>1</sup>によると、日本から輸出された豚肉の中で、香港向けに輸出された豚肉は金額ベースで世界全体(23.8億円)の71.0% (16.9億円)を占めている。日本国内では、北海道を除き豚熱\*が発生又は豚熱ワクチンの接種を実施しているため、現在は北海道産豚肉のみが香港に輸出可能である。(7. 規制・ルール参照)\*

参照：農林水産省「豚熱（CSF）について」

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/csf/index.html>

香港には多様な人種が生活し往来しており、宗教によって食が制限される場合がある。イスラム教やユダヤ教信徒は豚肉を食さないため、豚肉入りの料理はその影響を受ける場合があるが、豚肉は中華料理のみならず西洋料理でも和食でも日々取り扱われ、香港ではなくてはならない食材である。

香港の日本料理店において、豚肉は日本と同様、トンカツ、ラーメンのチャーシュー、生姜焼きやポークソテー、焼肉、カレーなどの食材として使用されている。そのため、求められる部位はロースやヒレ、肩ロース、バラ肉と特定される。

一方、素材を活かす調理方法が特徴の広東料理では、豚肉は、いわゆるロースやモモといった精肉だけではなく、ミミ、カシラ、タン、ネックから、テールやスネ、豚足に至るまで、1頭まるごと余す所なく活用されている。酢豚やチャーシューは広東料理の名物の一つであり、エビ餃子やシューマイといった点心には豚肉ミンチがつなぎとして使用される。とんこつやバラ肉から抽出したスープをベースにする「とんこつスープ」や、豚を皮ごとローストした「子豚のロースト」や豚足の煮込み料理は香港では日常的に食される料理である。また、広東料理以外にも、潮州料理（中国広東省潮州市等が発祥地で、福建料理の影響を受けているため広東料理とは異なる。たとえば、伝統的な広東料理が川魚や鶏肉を主に使用するのに対し、潮州料理は海産物やガチョウを主に使用する。アワビやフカヒレなどの高級料理から豚足や豚の内臓を使った日常的な料理まで多岐にわたる。）で提供される豚の胃袋を用いた煮込み料理、上海料理で提供されるひぎ肉の煮込みなど、香港では豚肉のさまざまな部位が日常的に食されている。

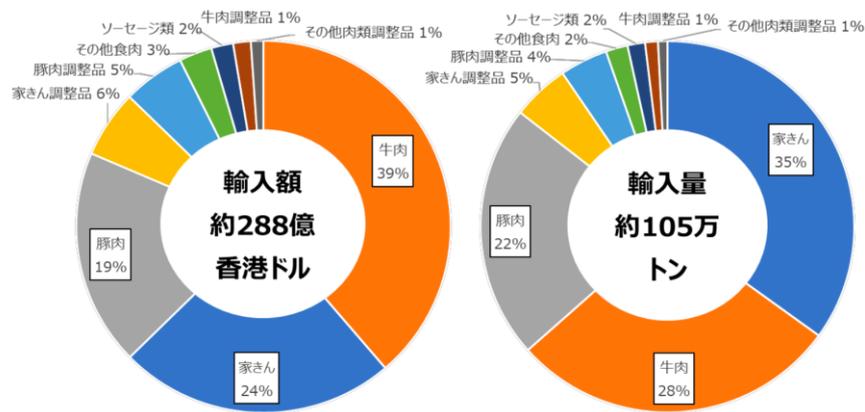


<sup>1</sup>URL : [https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e\\_info/attach/pdf/zisseki-271.pdf](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/e_info/attach/pdf/zisseki-271.pdf)

<写真: 広東料理・麗晶軒<sup>2</sup>の豚肉ベースのスープ（左）と点心（中央） / 広東料理・厨魔名人坊<sup>3</sup>の点心（右）（筆者撮影）>

また、香港に輸入される畜産品の中で豚肉が占めるシェアは金額ベースでは全体の19%を占め、数量では22%を占めており、いずれも牛肉や家きん肉（鶏肉）に次ぐ第3位のシェアである。（表1参照）。

表1：香港における肉類及び肉加工品の輸入構成(2024年)



SITC 01 - MEAT AND MEAT PREPARATIONS

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年10月現在)

他の畜産品同様、香港では豚肉に鮮度が求められる場合がある。そのため中国産あるいは香港産冷蔵の豚肉は、卸売市場から枝肉の状態では運ばれ、香港内に74ヶ所ある「街市<sup>4</sup>（公設市場のこと）」でそれぞれの部位にと畜され、常温のまま吊るして販売される販売方法が長年続いている。街市では正肉のみならずヘッドやテール、レバーなどの内臓も販売されている。また、地場系スーパーマーケットの中には以下写真のように冷蔵豚肉の対面販売を行う店舗は今も存在する。



<写真: (左) 街市の豚肉店 / (右) Wellcome<sup>5</sup>スーパーマーケット内豚肉対面売り場（筆者撮影）>

2URL : <https://hongkong.regenthotels.com/zh-hant/dining-destination/lai-ching-heen/>

3URL : <https://lubuds.com/zh/厨魔名人坊/>

4URL : [https://www.fehd.gov.hk/english/pleasant\\_environment/tidy\\_market/tidy\\_public\\_markets.html](https://www.fehd.gov.hk/english/pleasant_environment/tidy_market/tidy_public_markets.html)

5URL : <https://www.wellcome.com.hk>

## ◆2. 輸入状況と近年の動向◆

近年の豚肉（生鮮・冷蔵・冷凍）の輸入状況を見てみると2018年の輸入量は25万390トンと2017年と比較し30.3%減少した。また、金額は52億8,252万香港ドルと同31.3%減少した。その後、コロナ禍の期間中に内需が増えて一旦回復するも豚熱発生前の数量・額には戻らず現在に至っている。2024年は、金額ベースでは前年比4.9%減の48億1,172万ドル、数量ベースでは同2.8%減の179,623トンであった（表2参照）。

主要輸入相手国の動向をみると、上位2カ国であるブラジルと中国本土の輸入額合計は全体の61.4%を占め、数量では同69.8%と大きなシェアを占めている。

表2：香港における豚肉（生鮮・冷蔵・冷凍）の輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額														
ブラジル	100,170	1,880,623	111,750	1,867,510	99,764	1,739,108	112,189	2,169,229	113,594	2,184,329	84,848	1,546,502	99,074	1,972,735	91,699	1,833,358	-7.4%	-7.1%	51.1%	38.1%
中国	49,446	1,764,739	38,705	1,334,521	26,111	976,113	13,151	613,677	20,115	916,544	34,140	1,339,917	30,207	1,132,134	33,587	1,120,874	11.2%	-1.0%	18.7%	23.3%
ベトナム	15,915	505,582	9,186	281,269	11,587	420,038	4,216	215,053	4,889	307,929	7,131	334,128	8,681	441,761	8,122	429,860	-6.4%	-2.7%	4.5%	8.9%
オランダ	26,972	607,476	17,314	388,352	16,639	415,343	15,528	431,669	19,377	483,373	16,165	439,554	15,998	446,589	11,951	332,304	-25.3%	-25.9%	6.7%	6.9%
ロシア	752	11,393	0	0	300	3,872	4,542	101,306	3,460	87,178	2,094	42,993	3,555	79,827	11,510	261,153	223.8%	227.1%	6.4%	5.4%
スペイン	16,294	349,007	9,646	235,976	4,191	176,015	6,588	319,114	5,596	294,844	5,240	281,769	3,622	224,985	3,757	238,828	3.7%	6.2%	2.1%	5.0%
米国	59,948	1,035,089	29,762	532,175	10,981	231,091	12,139	261,401	5,248	169,765	2,783	133,018	2,193	91,684	2,705	110,388	23.4%	20.4%	1.5%	2.3%
ドイツ	38,821	580,352	11,556	170,640	3,522	45,173	12,316	195,615	34,079	545,975	5,415	104,009	6,707	147,755	4,102	99,061	-38.8%	-33.0%	2.3%	2.1%
ポーランド	22,417	349,319	9,759	145,782	9,538	130,365	11,707	256,337	13,651	315,625	9,016	225,541	6,519	153,892	5,574	94,550	-14.5%	-38.6%	3.1%	2.0%
日本	479	43,369	539	53,359	623	55,023	1,008	88,912	1,104	109,103	1,069	104,962	979	89,961	776	69,142	-20.7%	-23.1%	0.4%	1.4%
全体	359,371	7,683,905	250,390	5,282,528	200,610	4,639,631	228,337	5,929,795	244,609	6,286,813	175,219	4,827,863	184,829	5,060,414	179,623	4,811,723	-2.8%	-4.9%	100.0%	100.0%

SITC 01221 - MEAT OF SWINE, FRESH OR CHILLED  
SITC 01222 - MEAT OF SWINE, FROZEN

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年9月現在)

日本産豚肉に関しては、従来は鹿児島県や宮崎県などの九州地方をはじめ、宮城県、千葉県、新潟県等本州からも輸入されていたが、豚熱発生の影響により、2018年9月以降、豚熱発生都道府県にも豚熱ワクチン接種都道府県にも該当しない都道府県で生産・処理されたもの（現在は北海道産のみ）が香港に輸入されている。香港における日本産豚肉のニーズがある一方で、豚熱発生後数年間は香港内で保管されていた豚肉が流通したが、現在は実質北海道産のみが流通している。

参照：動物検疫所「豚熱の発生に伴う豚肉等の輸出停止・再開について」

<https://www.maff.go.jp/aqs/topix/csf2018.html>

2024年における日本産豚肉は金額ベースでは1.4%、数量ベースでは0.4%のシェアを占める。日本産豚肉は金額ベースで前年比23.1%減の6,914万ドル、数量ベースでは同20.7%減の776トンであった。



<写真：SOGOの2022年の豚肉対面売りの様子（左）/SOGOの2025年の豚肉対面売りの様子（右）（筆者撮影）>

・生鮮・冷蔵豚肉

香港における生鮮・冷蔵の豚肉については前述のように主に香港産及び中国産から供給されている。

元朗など新界（ニューテリトリー）<sup>6</sup>の一部地域では古くから養豚が行われており、現在も43の養豚場がある。香港政府・漁農自然護理署<sup>7</sup>によれば、香港における豚肉の自給率は9%であり、2024年には平均して1日あたり230頭の食用豚<sup>8</sup>が香港でと畜され、卸売企業から小売店へ流通している。また、中国本土産も含めると1日平均して3,073頭の生鮮の豚肉が流通している。<sup>9</sup>ちなみにこの中国本土産は表3の輸入としてカウントされる。

香港では、小売用であれ、業務用であれ、冷蔵豚肉のニーズが存在する。冷蔵の豚肉は前述の中国産のみならず航空便で運ばれるタイ産が流通している。

表3：香港における豚肉（生鮮・冷蔵）の輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
中国	6,680	191,083	5,421	148,656	7,411	254,637	2,829	92,286	8,142	300,780	18,704	623,471	10,565	394,472	11,605	309,465	10.5%	-19.5%	82.0%	73.2%
タイ	131	6,169	88	3,370	3,837	132,589	19,182	799,482	11,404	492,973	720	33,078	1,316	49,270	1,735	50,875	31.9%	3.3%	12.3%	12.0%
オーストラリア	343	21,451	317	17,770	721	36,930	2,944	135,006	1,819	89,325	684	40,569	416	29,039	232	19,485	-44.3%	-32.9%	1.6%	4.6%
カナダ	342	21,171	365	23,426	425	27,428	495	31,563	439	28,805	439	31,294	287	21,282	265	19,425	-7.7%	-8.7%	1.9%	4.6%
米国	107	4,073	46	3,987	219	8,741	1,783	38,657	437	14,105	185	11,595	98	6,994	98	6,024	-0.8%	-13.9%	0.7%	1.4%
スペイン	199	9,504	313	11,375	546	17,222	318	11,594	321	10,317	39	2,477	36	3,038	35	5,100	-2.0%	67.9%	0.2%	1.2%
韓国	5	537	13	2,436	8	709	35	2,220	80	4,000	227	10,414	164	7,303	84	4,437	-49.1%	-39.2%	0.6%	1.0%
イタリア	11	2,439	8	1,666	17	2,952	20	2,773	39	5,569	40	4,470	37	4,794	25	2,855	-33.3%	-40.4%	0.2%	0.7%
日本	25	2,088	38	2,978	47	3,806	68	10,563	71	10,439	8	913	14	1,241	30	2,247	108.9%	81.1%	-0.2%	0.3%
イギリス	8	743	17	1,516	50	5,207	49	5,995	47	6,050	23	3,039	16	2,206	11	1,457	-33.4%	-34.0%	0.1%	0.3%
全体	10,751	314,473	9,809	276,657	15,850	537,878	30,746	1,205,755	25,622	1,038,142	21,391	771,591	13,025	514,172	14,153	422,783	8.7%	-17.8%	100.0%	100.0%

SITC 01221 - MEAT OF SWINE, FRESH OR CHILLED

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」(2025年9月現在)

6URL : <https://www.map.gov.hk/gm/>

7URL : [https://www.afcd.gov.hk/tc\\_chi/index.html](https://www.afcd.gov.hk/tc_chi/index.html)

8URL : [https://www.afcd.gov.hk/tc\\_chi/agriculture/agr\\_fresh/agr\\_fresh\\_fur/files/Fact\\_sheet\\_on\\_food\\_supply\\_c\\_2024.pdf](https://www.afcd.gov.hk/tc_chi/agriculture/agr_fresh/agr_fresh_fur/files/Fact_sheet_on_food_supply_c_2024.pdf)

9URL : [https://www.afcd.gov.hk/tc\\_chi/publications/fact\\_sheet/files/SC\\_Fact\\_Sheet\\_Agriculture\\_Fisheries.pdf](https://www.afcd.gov.hk/tc_chi/publications/fact_sheet/files/SC_Fact_Sheet_Agriculture_Fisheries.pdf)

表 4：香港における豚肉（冷凍）の輸入推移

(単位：トン、1,000香港ドル)

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		2022年		2023年		2024年		前年比		構成比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額														
ブラジル	97,314	1,828,986	108,632	1,812,966	97,447	1,701,614	110,565	2,140,856	112,387	2,161,397	84,720	1,544,487	99,004	1,971,266	91,671	1,832,819	-7.4%	-7.0%	55.4%	41.8%
中国	42,766	1,573,656	33,284	1,185,865	18,701	721,476	10,322	521,391	11,973	615,764	15,436	716,446	19,702	747,662	21,982	811,409	11.6%	8.5%	13.3%	18.5%
ベトナム	15,915	505,582	9,186	281,269	11,587	420,038	4,216	215,053	4,889	307,929	7,131	334,128	8,681	441,761	8,122	429,860	-6.4%	-2.7%	4.9%	9.8%
ロシア	26,963	607,234	17,290	387,688	16,416	407,829	14,189	388,192	18,331	445,181	16,046	435,919	15,942	446,837	11,951	332,304	-25.0%	-25.6%	7.2%	7.6%
ロシア	752	11,393	0	0	300	3,872	4,542	101,306	3,460	87,178	2,094	42,993	3,555	79,827	11,510	261,153	223.8%	227.1%	7.0%	6.0%
スペイン	16,095	339,503	9,333	224,601	3,645	158,793	6,270	307,520	5,275	284,527	5,202	279,292	3,587	221,947	3,722	233,728	3.8%	5.3%	2.2%	5.3%
米国	59,841	1,031,016	29,716	528,188	10,762	222,350	10,355	222,744	4,812	155,660	2,598	121,423	2,094	84,690	2,607	104,364	24.5%	23.2%	1.6%	2.4%
ドイツ	38,821	580,352	11,556	170,640	3,522	45,173	12,289	195,319	34,079	545,975	5,415	104,009	6,707	147,755	4,102	99,061	-38.8%	-33.0%	2.5%	2.3%
ポーランド	22,417	349,319	9,759	145,782	9,538	130,365	11,707	256,337	13,628	315,206	8,991	224,803	6,519	153,892	5,574	94,550	-14.5%	-38.6%	3.4%	2.2%
日本	454	41,281	501	50,381	576	51,217	940	78,349	1,032	98,664	1,061	104,049	964	88,720	746	66,895	-22.7%	-24.6%	0.5%	1.5%
全体	348,621	7,369,432	240,581	5,095,871	184,760	4,101,753	197,591	4,724,040	218,988	5,248,671	153,829	4,056,272	171,804	4,546,242	165,470	4,388,940	-3.7%	-3.5%	100.0%	100.0%

SITC 01222 - MEAT OF SWINE, FROZEN

出所：香港統計局「Hong Kong External Merchandise Trade」  
(2025年9月現在)

・ 冷凍豚肉

香港で消費される豚肉のほとんどは海外からの供給であり、近年は冷凍豚肉の輸入が冷蔵豚肉の輸入よりも上回っている。具体的には 2024 年の場合、香港に輸入された豚肉 17 万 9,623 トンのうちの 92.1%にあたる 16 万 5,470 トンが冷凍豚肉として輸入されている。

香港に輸入された冷凍豚肉は、2024 年には、金額ベースでは前年比 3.5%減の 43 億 8,894 万ドル、数量ベースでは同 3.7%減の 165,470 トンであった（表 3 参照）。主要輸入相手国の動向をみると、全体同様、ブラジルと中国本土の上位 2 カ国のシェアが強く、この 2 カ国の輸入額合計は全体の 60.3%を占め、数量では同 68.7%を占めている。

・ 畜産加工品

ハム・ソーセージなどの加工品についても輸入品がほとんどである。冷凍またはチルドの豚肉加工品を輸入する際は香港食物環境衛生署からの輸入ライセンスが必要となり、食肉加工品の保存料や酸化防止剤については、使用できる種類とその最大濃度が定められている。ただし、加熱調理済みの場合、香港では一般的な加工品と同様に扱われる。

生ハムやソーセージの多いイメージがあるが、イギリス統治下の影響を受けてスパムが日常的に扱われ、金華ハムも中華料理の食材として様々な価格帯の商品が流通している。ソーセージに関しては豚肉 100%とは限らないが、豚肉全体に対して加工品は 2024 年の場合、以下表の割合で輸入されている。

2024 年に香港に輸入された豚肉全体の金額は 48 億 1,172 万香港ドルである。一方、豚肉加工品としてはサラミ・ソーセージ等豚肉調整品が 4.4 億香港ドル、スパム等缶詰調整品が 2.9 億香港ドル、ロースハムが 2.7 億香港ドル、骨付きハムが 6,500 万香港ドル、生ハムとベーコンがそれぞれ 4,200 万香港ドルであった。



<写真：City Super の生ハム売り場の様子（筆者撮影）>

### ◆3. 飲食業の動向◆

前述のように香港の飲食店では豚を頭から豚足まで使用される。広東料理では「焼味（シュウメイ）」と呼ばれる料理で、たとえば、豚の腹を皮ごとローストした「豚肉のロースト（焼腩肉）」やチャーシューはその代表的な料理である。また宴会の席で使われる子豚を丸ごと一匹皮ごと焼いた「子豚のロースト（乳猪）」は頭から豚足まで食事に使い、骨の部分はスープに使用される。豚肉のネックは脂ののりが良くて滑らかな肉質のため焼肉店で活用され、麺専門店のトッピングや炒め物として使われることが多い。中華料理に豚肉は欠かせない食材である。

香港の中華料理店におけるチャーシューなどの材料としては、主に中国産豚肉が使用されているが、イベリコ豚を使用することで差別化する高級広東料理店もある。イベリコ豚等、他国産豚が皮付きで提供可能である一方、日本産豚は皮を除いた形で香港に輸入されている。そのため広東料理をはじめとした中華料理店で採用される機会は少ない。



<写真(左)広東焼味料理専門店「華豊」<sup>10</sup>の豚肉のロースト（焼腩肉）と子豚のロースト（乳猪） / (中央)Rosewood hotel<sup>11</sup>のチャーシュー丼(左) 南記<sup>12</sup>・豚肉ネック麺（筆者撮影）>

香港の日本料理店では、豚肉について、中国産やカナダ産などを使用する場合もあるが、日本産豚肉や銘柄豚にこだわりを持って仕入れている店もある。日本産豚肉を取り扱う食品輸入商社や飲食店料理長からのヒアリングによると、日本産銘柄豚については、元来、肉質が柔らかく臭みがほとんどなく食味も良いという特徴を有するうえ、「鹿児島県産の黒豚」など、他国産豚肉の差別化ができるブランドとしてニーズがあるとされてき

<sup>10</sup>URL : [https://www.instagram.com/wah\\_fung\\_hk/t](https://www.instagram.com/wah_fung_hk/t)

<sup>11</sup>URL : <https://www.rosewoodhotels.com/tc/hong-kong/dining/holts-cafe>

<sup>12</sup>URL : <https://www.namkee.hk/home-eng>

た。また、香港の畜産輸入業者や日本料理店において、日本産豚肉の枝肉が一頭買いされることは少なく、ニーズがあるロースや、ヒレ、肩ロース、バラといった部位が個別に取引されるのが一般的である。

しかし近年は、景気の影響や中国本土の低価格帯の商品が影響し、より安価な商材が求められるようになったうえ、安価であるだけことと併せておいしさも求められる中で、他国産の豚肉を用いる事業者も存在する。日本風の定食料理を提供するレストランの大戸屋では、タイ・ベタグロ社の「S・Pure<sup>13</sup>」ブランドの豚肉が使用されている。大戸屋香港<sup>14</sup>によると、この商品は、価格訴求力があることだけではなく、冷凍特有の臭みがなく冷蔵品であるためフレッシュであり品質が良いこと、飲食店に必要な保存方法やカット方法を卸売業者が指導してくれることが特徴である。

「ちいかわラーメン豚 香港」<sup>15</sup>は、日本のパルコが企画・プロデュースを手掛け、香港の飲食グループである Flames Concepts とのフランチャイズ契約により、2025年8月に、旺角（モンコック）のショッピングモール「ランガムプレイス（Langham Place）」に海外初店舗として期間限定オープンした。日本で生まれ香港でも人気を得ているコンテンツ・ちいかわととんかつスープベースのラーメンという日本の食文化とのコラボレーションは香港では大きな話題となった。



<写真(左)焼肉 Like の北海道豚のセットメニュー<sup>16</sup> / (中央)タイ産冷蔵豚肉使用の大戸屋定食 / (右)ちいかわラーメン豚のラーメン（筆者撮影） >

なお、ラーメンスープやチャーシュー、とんかつのみならず、日本の特定地域の食べ方が香港で受け入れられるケースもある。中華料理や西洋料理、日本料理のレストランチェーンを営むマキシムグループの「井井屋<sup>17</sup>」では、十勝豚丼が看板メニューの一つで、同グループが営む「ぶたはげ<sup>18</sup>」では、希少な北海道産「かみこみ豚」を使い「帯広名物 豚丼ロース（特）」を提供している。

13URL : <https://www.namkee.hk/home-eng>

14URL : <https://www.facebook.com/Ootoya.HK/>

15URL : [https://cafe.parco.jp/event/chiikawaramenbuta\\_hongkong?area=029907](https://cafe.parco.jp/event/chiikawaramenbuta_hongkong?area=029907)

16URL : <https://www.facebook.com/yakinikulikehk/>

17URL : <https://www.facebook.com/DONDONYAHK/>

18URL : <https://www.facebook.com/butahagehongkong>

#### ◆4. 小売業の動向◆

香港における豚肉は、主に街市やスーパーマーケット、冷凍食品専門店およびミニスーパーで流通している。スーパーマーケットは富裕層向け、アッパーミドル、ローワーミドル、という分類と、地場系、中国本土系、日系、旧日系、韓国やタイなどの外国系という分類に分けられるが、いずれの 카테고리でも地域性や店舗の性質によって対面販売あるいは、日本と同様のトレー販売が行われている。対面販売では主に生鮮肉（あるいは解凍した冷凍肉）を扱い、トレー販売では主に冷凍肉を解凍しスライスしたものを販売し、一部の店舗では冷凍肉のまま販売されている。



<写真：冷凍食品専門店成興隆<sup>19</sup>の豚肉売り場の様子（トレー販売）（筆者撮影）>

高級またはミドルアッパー向けスーパーマーケットのトレー販売でも対面販売でも銘柄豚やブランド豚\*が販売されているが、トレー販売では比較的手に取りやすい価格帯で販売されている一方で、対面販売の場合は、特別感のある、高価格帯商品が販売されている。例えば、City Super の場合、対面販売の売り場ではスペイン産最高級の Bellota 社<sup>20</sup>のイベリコ豚が販売され、トレー販売ではブランド名のないスペイン産イベリコ豚が販売されている。

銘柄豚やブランド豚は正規代理店を通して仕入れられ、正規販売店として販売していることを消費者にアピールする小売店も少なくない。たとえば、旧日系スーパーマーケットである YATA（一田）<sup>21</sup>の場合、カナダ産銘柄豚の正規販売店である旨を示す POP を掲載するなどして、売り場でその品質の良さを伝えている。



<写真：YATA の豚肉売り場の様子（筆者撮影）>

19URL : <https://www.slh.com.hk/凍肉專區>

20URL : <https://7bellotas.com/tw/>

21URL : <https://www.yata.hk/tch/?uuiid=J5Zx2aJBACpYtsQW3741>



<写真：Wellcome で販売される中国「家佳康」ブランドの豚肉（筆者撮影）>

また、従来は中国本土産豚肉＝安価な豚肉というイメージが持たれていたが、現在は品質の良い豚肉であることを伝えるブランド商品が流通している。例えば、中国コフコグループ傘下の「家佳康<sup>22</sup>」が取り扱う、自社の通常製品と比べて6倍ものアマニ油の含有率を誇る豚肉などはその一例で、香港の地場系スーパーマーケットであるASワトソンズグループ及びDFIグループのスーパーマーケットで販売されている。

価格面に関しては、家佳康社のアマニ油含有の中国産豚肉とタイ産冷蔵豚肉（航空便）を比較すると1パックあたり3-5香港ドル（約60-100円）ほどの価格差でタイ産冷蔵豚肉の方が高いが、タイ産冷蔵豚肉の方が50グラムほど多くパックに入って販売されている。

#### \*銘柄豚とブランド豚について

香港における業界関係者からのヒヤリングによると銘柄豚とブランド豚に明確な線引きをしていないが、銘柄豚を生産者や企業が独自にブランド化したものをブランド豚と呼ぶ場合が多い。

なお、日本産銘柄豚については以下参照（一般社団法人日本養豚協会<sup>23</sup>HPより引用）

<http://www.butatrace.com/report.html>

---

22URL : <http://www.cofcojoycome.com>

23URL : <https://jppa.biz>

表5 香港におけるスーパーマーケット・食品小売店

店舗名	店舗数	店舗名	店舗数
地場系		日系	
DFI Retail	323	DON DON DONKI	11
Wellcome	278	業務スーパー	2
Market Place	42	マツモトキヨシ	13
3hreesixty	2	MUJI 無印良品	21
Oliver's The Delicatessen	1	Aeon	82
A. S. Watsons	235	DAISO Japan	29
PARKnSHOP	153	Living Plaza	27
FUSION	59	Aeon/ Aeon Supermarket	7
TASTE	17	KOMEDA'S Coffee	7
FOOD PARC	3	Aeon Style	6
Parkshop Frozen Food Store	2	ものもの	6
GREAT	1	旧日系	
city'super	6	一田(YATA)	16
DS Groceries	71	APITA / UNY	4
HKTVmall	76	Freshmart (SOGO Hong Kong)	1
Green Price	15	韓国系	
中国本土系		New World Mart	7
U Select Stores / Super Market	20	Market Wholesome	2
佳宝(Kai Bo Food Supermarket)	91	その他外資系	
錢大媽(Qiandama)	103	Marks & Spencer(英国)	22
好特卖(HOTMAXX)	5	BIG C(タイ)	20

出所：各社のHPIに基づきジェトロ香港が作成（2025年8月時点）

日本産銘柄豚に関しては、正規代理店を通して輸入され、正規販売店を通して販売されているが、それをアピールするためのPOPや証書、プレート等を店内に配置することは少ない。また、香港では、特定の銘柄豚ではない日本産豚肉については、「日本豚」のマーク（下図右）のシールが貼られ、スーパーマーケットなど小売店で販売される場合がある



<写真：（左）Wellcome スーパーマーケットの豚肉売り場 / （中央）十勝煌き豚（筆者撮影） / （右）日本豚統一マーク（日本畜産物輸出促進協議会より引用）>

日本豚のマークは、2016年、日本畜産物輸出促進協議会（公益法人中央畜産会内）<sup>24</sup>が、「世界の人に日本産豚肉の美味しさを味わってもらいたい」という思いから制定したもので、香港でもスーパーマーケットで使用されてきた。なお、近年は、「ゆめの大地<sup>25</sup>」や「十勝煌き豚」などといった特定の銘柄豚については、独自のブランドのシールがパッケージに貼られている場合が多くなっている。

<sup>24</sup>URL : <https://jlec-pr.jp/pork/>

<sup>25</sup>URL : <https://hokkaido-pork.com/ja/>

## ◆5. 小売価格◆

「Great<sup>26</sup>」や「Taste<sup>27</sup>」等、香港における地場系高級スーパーマーケットでは高価格帯の外国産ブランド豚が対面販売され、また日系および旧日系スーパーマーケットでも、高価格帯の外国産ブランド豚が対面販売されている。たとえばスペイン産イベリコ豚をはじめ、デンマーク産クラウン豚や米国産飼料豚がそれにあたる。日本産ブランド豚に関しては、鹿児島産黒豚や千葉県産いも豚などが過去取り扱われてきたが、近年では北海道産銘柄豚がブランド豚として販売されている。

また、前述の街市の冷凍高級畜産品取り扱い店舗や、スーパーマーケットでの対面販売及びトレー販売以外にも、冷凍の一次産品を主に販売している冷凍品の専門店や、おかしランド<sup>28</sup>や759阿信屋<sup>29</sup>のように冷凍設備を持つ一部のミニスーパーでも日本産豚肉は流通しており、その裾野は広がっている。

ジェトロが2024年11月～2025年2月にかけて現地市場価格調査を行ったところ、アッパーミドル向けスーパーマーケットでトレー付きで販売される豚肉は100gあたりで、米国産ロースが30.0香港ドル（約600円）、イベリコ豚ロースが63香港ドル（約1,260円）、一方、北海道産ゆめの大地火鍋用バラ肉が52香港ドル（約1,040円）である。また、2025年12月に現地市場価格調査を行ったところ、街市で販売されているブラジル産冷凍バラ肉は6.2香港ドル（約124円）であり、同ポークチョップは4.9香港ドル（約98円）、街市で販売されている中国産豚バラ肉は7香港ドル（約140円）、ポークチョップは10.3香港ドル（約206円）である。

表6 香港における小売価格表

品目名・商品名	販売単位	販売価格 (現地通貨)	原産国・産地	販売店の種別	販売店のターゲット
ロースステーキ(トレー入れ)	100g	30.00	米国	現地系	富裕層
バラ肉(トレー入れ)	100g	32.00	ポーランド	現地系	富裕層
イベリコ豚 ロースステーキ(トレー入れ)	100g	63.00	スペイン	現地系	富裕層
イベリコ豚 フレンチラック(トレー入れ)	100g	65.00	スペイン	現地系	富裕層
MEATU 北海道産豚肉 スペアリブ キューブ	420g	65.00	日本(北海道)	現地系	ローワーミドル
MEATU 北海道産豚肉 サーロインステーキ	400g	65.00	日本(北海道)	現地系	ローワーミドル
和旨豚 北海道 バラ肉 焼肉用(トレー入れ)	100g	29.00	日本(北海道)	日系	ローワーミドル
北海道 リブアイ(量り売り)	100g	29.00	日本(北海道)	現地系	アッパーミドル
和旨豚 北海道 肩ロース 焼肉用(トレー入れ)	100g	30.00	日本(北海道)	日系	ローワーミドル
北海道 肩ロース スライス(量り売り)	100g	33.00	日本(北海道)	現地系	アッパーミドル
北海道 ゆめの大地 バラ肉 火鍋用(トレー入れ)	100g	52.00	日本(北海道)	現地系	富裕層

出所：ジェトロ香港調べ(2025年3月時点)

26URL : <https://www.aswatson.com/our-brands/food-electronics-wine/great/>

27URL : <https://www.facebook.com/TASTEsupermarkethk/>

28URL : <https://www.okashiland.com>

29URL : <https://759store.com>

## ◆6. 流通経路◆

香港における豚肉は、食品卸売市場を経由せず、食品輸入卸を経由して輸入された豚肉を飲食店や小売店に直接納入される場合がほとんどであり、日本産豚肉も同様に、食品卸業者を経由して輸入され、飲食店や小売店に納入されている。

日本産豚肉は、日本の生産者から商社を経由して香港に輸出されるのが一般的な経路だが、冷凍であれ冷蔵であれ、（加工品ではなく）生肉とみなされる豚肉については、輸出要綱に基づき認定されている豚肉取扱施設<sup>30</sup>でと畜された豚肉のみ輸出が可能である。現状、日本国内にある（香港への輸出の取り扱いが認められている）豚肉取扱施設では、豚を洗浄、と畜、解体、検査、計量、加工してパック詰めを国内流通と同じように一貫して行う体制を敷いている。

日本産豚肉を輸入している香港の食品輸入商社は、卸売業を兼ねている場合が多い。輸入した商材を飲食店のニーズに合わせて食品工場でカットやスライスをする、あるいは小売店に売場を設けている場合は売り場でカットやスライスをするところまで、輸入商社が行っている。

## ◆7. 規制・ルール◆

### 1. 輸入禁止（停止）、制限品目（放射性物質規制等）

まず、いわゆるゲームミート（野生動物の肉）について、香港では、香港政府との間に特定のゲームミートに関して輸入協定を持つ国を原産とするゲームミートを申請した輸入業者のみゲームミートの輸入が許可される。現時点でこの協定は、香港・日本間で締結されていない。そのため、生鮮・冷蔵・冷凍の日本産イノシシ肉或いはイノシシと豚肉を掛け合わせたイノブタ肉はゲームミートとみなされ、輸入が認められていない。

そのうえで、野生動物の肉ではない、いわゆる一般的な「豚肉」については、香港政府が求める条件を満たす施設として厚生労働省が認定した施設で、と畜・解体から分割までが一貫して行われたもののみが、香港食物環境衛生署（FEHD）により輸入が認められている。

また、食物環境衛生署（FEHD）によると、ハム、ソーセージ、ベーコンなどの豚肉加工品については、一般加工食品の扱いになるため、認定施設での処理は必要ない。なお、生肉入り冷凍ギョーザ、生肉入りハンバーグなど、加熱されていない食品についても、一般加工食品の扱いになるため、認定施設での処理が輸入要件として求められることはない。

[香港向けの生肉を含む畜産加工品の輸入運用が変更\(香港\) | ビジネス短信](#)  
[ジェットロの海外ニュース - ジェトロ \(jetro.go.jp\)](#)

東京電力福島第一原子力発電所事故の影響により、日本から輸入される5県（福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県）の食品のうち、食肉については、放射性物質検査を行い、

<sup>30</sup>URL : [https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/attach/pdf/yusyutu\\_shinsei\\_asia-926.pdf](https://www.maff.go.jp/j/shokusan/hq/i-4/attach/pdf/yusyutu_shinsei_asia-926.pdf)

香港の放射性物質の基準に適合していることを証明する政府機関発行の証明書が必要である。

香港による日本産食品の輸出に係る原発関連の規制について：農林水産省 ([maff.go.jp](http://maff.go.jp))

また、豚熱の発生に伴い、豚熱発生都道府県および豚熱ワクチン接種都道府県以外で生産、処理されたもの、ワクチン接種豚を受け入れていない輸出施設で処理されたものについてのみ、輸入が受け入れられている。

豚熱の発生に伴う豚肉等の輸出停止・再開について：動物検疫所 ([maff.go.jp](http://maff.go.jp))

## 2. 動物検疫の有無、施設登録、輸出事業者登録、輸出に必要な書類等（輸出者側で必要な手続き）

日本から香港に豚肉を輸出する際には、厚生労働省が認定した施設でと畜・食肉処理を行うとともに、指定された食肉衛生証明書および輸出検疫証明書の取得が必要である。

（認定施設リスト：[アジア | 証明書や施設認定の申請：農林水産省 \(\[maff.go.jp\]\(http://maff.go.jp\)\)](#)）

（輸出検疫証明書：[偶蹄類の畜産物の輸出：動物検疫所 \(\[maff.go.jp\]\(http://maff.go.jp\)\)](#)）

## 3. その他の関連リンク

関係省庁

[香港食品安全センター \(CFS\) \(英語\)](#)

[香港食物環境衛生署 \(FEHD\) \(英語\)](#)

根拠法等

[香港特別行政区基本法「輸入獵獲物、肉類、家きんおよび卵規則」 \(Cap.132AK Imported Game, Meat, Poultry And Eggs Regulations\) \(英語\)](#) / [\(ジェトロ仮訳\)](#)

その他参考情報

[農林水産省「農林水産物等の輸出におけるよくある相談」](#)

[香港食品安全センター「日本産食品の輸入規制に関する最新情報」 \(Latest update on Import Control on Japanese Food \(as at 2021\)\) \(英語\)](#)

[農林水産省「アジア | 証明書や施設認定の申請」](#)

[ジェトロ「豚肉の輸入規制、輸入手続き\(香港\) | 日本からの輸出に関する制度 - 農林水産物・食品 - 香港」](#)

### 参照◆日本産豚肉を扱う主なプレーヤー◆

日本産豚肉は香港では日系スーパーマーケットのみならず現地系スーパーマーケットや一部の畜産品専門店でもオンラインでも販売されている。

<小売店>

**AEON Style**

所在地：Units 07-11, 26/F, CDW Building, 388 Castle Peak Road, Tsuen Wan, New Territories, Hong Kong

Tel：852-2565-3600

URL：<http://www.aeonstores.com.hk/>

**APITA (Unicorn Stores)**

所在地：Cityplaza 2, 18 Taikoo Shing Road, Quarry Bay, Hong Kong

Tel：852- 2885-0331

URL：[https://apitauny.com.hk/?lang=ja\\_\\_](https://apitauny.com.hk/?lang=ja__)

**City!Super**

所在地：香港九龍觀塘巧明街 110 號興運工業大廈 2 字樓

Tel：852-3960-9300

URL：<https://online.citysuper.com.hk>

Facebook：<fb@ceccoils.com>

**Don Don Donki (PPIH)**

所在地：21/F, Mira Place Tower A, 132 Nathan Road, Tsim Sha Tsui, Kowloon, Hong Kong

Tel：852-3904-1481

URL：<https://www.dondondonki.com/hk/>

**香港 SOGO**

所在地：555 Hennessy Road, Causeway Bay, Hong Kong

Tel：852-2833-8338

URL：<http://www.sogo.com.hk/>

**PARKn SHOP**

Tel: 852-2690-0948

E-mail：[parknshop.info@asw.com.hk](mailto:parknshop.info@asw.com.hk)

URL：<https://www.pns.hk/zh-hk/>

**Wellcome**

所在地：11/F Devon House, Taikoo Place, 979 King's Road, Quarry Bay, Hong Kong

Tel：852-2299-1888

URL：<https://www.wellcome.com.hk>

**YATA**

所在地：Unit No. 901-910, 9/F., Tower 1 Grand Central Plaza, No.138 Shatin Rural committee Road, Shatin, NT, Hong Kong

Tel：852-2634-2070

URL：<http://www.yata.hk>

**<畜產物輸入商社>****Elite Fresh Food Ltd.**

所在地：Room 1406-08, 14/F Hong Kong Plaza, 186-191 Connaught Road West, Hong Kong

Tel：852-2546-1757

URL：<https://elitegroup.com.hk>

**Go Go Foods Co. Ltd.**

所在地：Unit 1214, 12/F, Chai Wan Industrial City, No. 60 Wing Tai Road, Chai Wan, Hong Kong

Tel：852- 2515-3300

URL：<http://www.gogofoods.com.hk>

**近藤貿易有限公司**

所在地：香港九龍觀塘 敬業街 41 號 四洲集團中心 31 樓

Tel：852-2219-5200

URL：<https://www.newkondo.com.hk/index.php>

**大發行食品公司**

所在地：香港鴨利洲利興街 10 號港灣工貿中心 1008 室

Tel：852-2540-6877

URL：<http://tfhco.com.hk>

#### **力生控股集團**

所在地：香港新界荃灣沙咀道 26-38 號 匯力工業中心 11 樓 02,06,07,10 室及 17 樓 16 室

Tel : 852-2690-9800

URL : <http://nicsang.com>

#### **新華日本食品**

所在地：Sun Wah Centre, 215-239 Wu Shan Road, Tuen Mun, NT, Hong Kong

Tel : 852-2404 3988

URL : <http://www.swjf.hk/>

#### **但馬屋（香港）有限公司**

所在地：香港九龍長沙灣 長義街 2-4 號 新昌工業大廈 7 樓 704A 及 704B 室

E-mail : [enquiry@tajimaya.com.hk](mailto:enquiry@tajimaya.com.hk)

URL : <https://www.tajimayahk.com>

#### **宏峰食品有限公司**

所在地：香港 柴灣新業街 6 號安力工業中心 11 樓 1104 室

Tel : 852-3525-1155

URL : <http://www.wifulfood.com/chi/default.asp>

<https://www.facebook.com/wifulfood/>

#### **Wismettac Nippon Foods Co., Ltd.**

所在地：香港柴灣新業街 6 號安力工業中心 13 樓 1304 室

Tel : 852-2898-8126

E-mail : [info@npf.com.hk](mailto:info@npf.com.hk)

URL : <https://www.wismettac.com.hk/chi/home/>

#### **五豐行有限公司**

所在地：香港西九龍欽州街西 89 號潤發大廈 3 樓

Tel : 852-3174-4288

E-mail : [crnfhkgw@nfh.hk](mailto:crnfhkgw@nfh.hk)

URL : <https://www.nfh.com.hk/index.html>

**全農國際香港有限公司**

所在地：Unit 2309-10, 23/F, Millennium City 5 – BEA Tower, 418 Kwun Tong Road,

Kuwn Tong, Kowloon, Hong Kong

Tel：852- 29739015

URL：http://www.zennoh-intl.com

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。輸出支援プラットフォームでは、できる限り正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、輸出支援プラットフォームおよび執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

執筆：農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム 香港

本レポートに関する問い合わせ先：

農林水産物・食品 輸出支援プラットフォーム 香港

TEL：852-2526-4067